

CITY OF YOKOHAMA

小児がんなど病気と向き合う
子どもたちの“新たな居場所”づくり
～メタバースでお菓子づくり！？～

2025年9月26日
市長定例記者会見



1 メタバースを活用した交流（これまでの取組）



小児がんなどの病気と向き合う子どもたちに
安心して過ごせる「新たな居場所」を

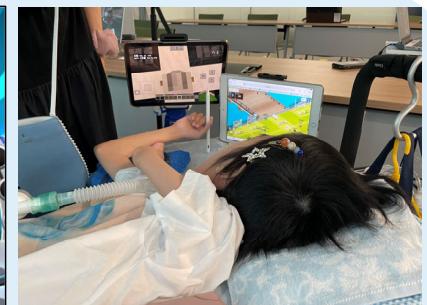
▼
メタバース空間を活用した交流支援を展開

【令和7年度 夏の取組】

① 「ルナクラフトワークショップ」

(横浜市とJAXA宇宙教育センターの共催)

参加者23名



② 「メタバースでおしゃべり会

～夏の思い出～

(横浜こどもホスピス うみとそらのおうちの看護師さんと)

参加者5名



2 交流企画 ~メタバースでお菓子づくり！？~ (次回)



子どもの声

パーティシエ体験や
料理がしたい！



+



医療関係者・教員の声

みんなで一緒に何かをする
何かを作る機会がほしい！

(昨年度アンケートより)

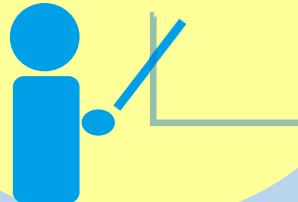
仮想空間と現実世界をつなぎ

子どもたちの「やってみたい」に応える

10月4日(土) 15:00～16:00

メタバース空間

①先生が
お菓子の作り方や、
素材をレクチャー



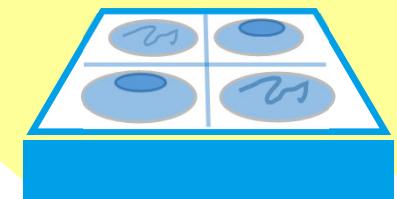
②みんなで
オリジナル焼き菓子
をデザイン



専門学校の先生・学生といっしょに

リアル(現実)空間

③専門学生が
焼き菓子を製作し、
プレゼント&WEB販売！

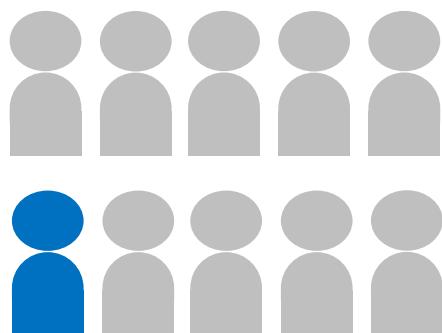


協力：横浜スイーツ＆カフェ専門学校

3 メタバースをより多くの方に

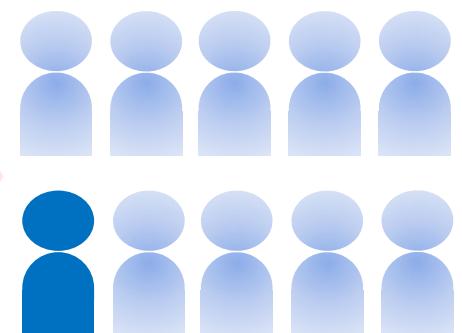


いつでも、何度でも行きたくなる「居場所」の形成に向け、
病気の子どもたちの心を支える取組を進めていきます



参加者の
アンケート

いつでも行ける
「メタバース空間の工夫」
より気軽に参加できる
「運営手法」の検討



利用してほしい方 約 450人※に対し、
これまでの参加者 延べ 46人 (約10%)

多くの方が行きたくなる
「居場所」づくり

※小児慢性特定疾病の医療受給者証を「悪性新生物」の病名でお持ちの方の人数(令和6年度末時点)